

武庫川女子大学薬学部と共同研究 ワサビ葉の新たな機能性を確認

日本薬学会 第131年会（静岡）で発表！！

ワサビ葉の機能性は、島根県機能性食品産業化プロジェクト（島根県と島根大学医学部の共同研究）における研究から、抗肥満に関する機能性として「前駆脂肪細胞の分化抑制効果」を見いだすとともに、マウスにおける体重増加抑制効果やヒト摂取においてアディポネクチンが増加傾向を示す事がすでに確認されています。

株式会社健康栄養素材研究所（大阪市 代表 飯沼清栄）では、平成21年8月から島根県所有特許技術を活用する地元企業と独占契約を行い、ワサビ葉健康食品素材「アディポナックスP」および「アディポナックスTL」の販売を開始し、末端商品のワサビ葉茶「スリムdeチャチャ茶」は、NHKローカル放送局のニュース番組を始め、大手健康雑誌にも記事として取り上げられるなどマスコミにも注目されています。

この度、株式会社健康栄養素材研究所と武庫川女子大学薬学部東洋医薬学教室（教授 高明氏）との共同研究において、ワサビ葉の新たな機能性が確認され、本年3月29日（火）～31日（木）に静岡県で開催される日本薬学会第131年会において発表されます。（※）

メタボリックシンドローム（MS）は、内臓脂肪の蓄積により糖代謝異常、脂質代謝異常、高血圧等動脈硬化の危険因子が集積した状態をいい、その予防や治療の必要性が指摘されています。

この度の共同研究では、ワサビ葉熱水抽出物をMS病態モデル動物であるSHRSP/ZF(fa/fa)ラットに投与し、MSにおけるワサビ葉の効果を検討したところ、ワサビ葉熱水抽出物投与群はコントロール群に比べて、血圧、体重ともに有意に低下し、体温は有意に上昇したことを確認しました。また、血中トリグリセリドも有意な減少を示し、さらに個々の脂肪細胞の大きさがワサビ葉熱水抽出物投与群で小さくなっていることも確認されました。

これらの結果より、ワサビ葉はMSの予防や治療に有用であることがわかりました。

ワサビ葉は、抗肥満・抗MSに対する新しい食品素材として有用であると考えられます。

【製品概要】

商品名：アディポナックス-P、アディポナックス-TL

価格：お問合せ下さい。

【本件に対するお問合せ】

株式会社健康栄養素材研究所 担当：飯沼

所在地) 〒545-0052

大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋5丁目11-2

アベノサンガビル3階

電話) 06-6658-2235 FAX) 06-6658-2226

※日本薬学会第131年会は、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による影響により、開催中止となりました。しかし、参集はございませんが要旨集の発行が既に完了していることから、本年会は成立したものとみなされます。